



結城農業かわら版

第108号 平成31年3月20日 発行 結城地域農業改良普及センター
TEL: 0296-48-0184 FAX:0296-48-2682



HPへアクセス↑

結城地域農業経営ステップアップセミナー

2月22日、八千代町中央公民館において「結城地域農業経営ステップアップセミナー2019」を開催しました！

講演会

「役割分担の家族経営から戦略的企業経営へ」

株式会社れんこん三兄弟代表取締役 宮本 貴夫 氏

情報提供

「チャレンジ！ICTを活用したこれからの農業」

結城地域農業改良普及センター 主任 常見 高士

「地理情報システムZ-GISの活用について」

全国農業協同組合連合会 茨城県本部 小野 開馬 氏

「JAグループ茨城におけるZ-GISの活用状況について」

茨城県農業協同組合中央会 吉田 健人 氏



↑講師 左から 宮本氏, 常見主任, 小野氏, 吉田氏

結城地域では、規模拡大に伴い日本人雇用の導入や法人化を目指す経営体が増加していますが、人材の定着や確保に課題があります。そこで、従業員が働きやすい環境づくりに力を入れている稲敷市の株式会社れんこん三兄弟代表取締役宮本氏に御講演いただきました。

同社は、社員平均年齢27歳の若い会社です。レンコンの生産だけではなく、販路拡大にも力を入れ、現在は148店舗の飲食店と取引を行っています。

現在も経営を発展させ続けている宮本氏、これまで苦労された点や今後の夢についてお話いただき、大変有意義な研修となりました。

情報提供では、ICT技術の農業への活用について、様々なシステムの特徴と活用のポイントについて紹介しました。システムにより使用感や得意分野が異なるため、無料お試し期間等を利用して自らの経営改善に役立つシステムを選ぶことも必要です。



←セミナー受講者

二月二十二日(金)

人材確保のための工夫

経営理念を設定、会社の目指す姿を社員と共有

作業管理や受注管理等にPCやクラウドサービスを利用、業務効率化

昇給やキャリアアッププランを社員に示す

転職しても役立つレベルの人材育成

ICT活用のメリット

圃場数が多くても、栽培履歴管理を迅速かつ正確に行える

在庫管理に利用
↓
資材の無駄を省ける

多人数で利用できるため
家族や従業員と情報共有
できる



第58回全国青年農業者会議



全国農業青少年クラブ連絡協議会会長賞受賞

2月26日・27日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて「第58回全国青年農業者会議」が行われました。

この会議は、全国の「農村青少年クラブ(4Hクラブ)員」が、各地域の最も優れたプロジェクトの成果を報告する場です。管内からは八千代町の高嶋氏(鬼怒4Hクラブ)が畜産部門代表として出場しました。

記録から始める和牛雌牛の繁殖改善と題し、記録方法の改善・発情の見える化について発表しました。



↑高嶋氏



↑高嶋氏が肥育している牛



発情徴候の観察や記録方法は、審査員から高く評価され、全国農業青少年クラブ連絡協議会会長賞を受賞しました。

全国各地の若い担い手が集まり意見交換を行うことで互いに刺激を受け、今回の会議のテーマである「相乗効果」に繋がりました。

←交流会の様子

茨城県農業青少年プロジェクト発表会 最優秀賞及び県議会議長賞受賞

1月29日、茨城県庁で開催された「茨城県農業青年プロジェクト発表会」において、結城市の菅井氏(結城市農村青少年クラブ)が園芸・特産部門で発表を行いました。

「夏作の品目大転換」と題し、アスターから初夏・夏ネギへの品目転換について発表しました。

初夏・夏ネギ栽培は初の試みでした。作業を機械化することで労働時間が短縮され、労働者の働き方改革につながるプロジェクトとなりました。菅井氏の取り組みは高く評価され、最優秀賞及び県議会議長賞を受賞しました。

菅井氏は7月に行われる「関東ブロック農村青少年(4H)プロジェクト発表会」へ茨城県代表として出場します。結城地域では、昨年度の高嶋氏に続く2年連続出場の快挙となりました。



↑菅井氏

コナガの発生に注意しましょう！

コナガは、気温の上昇に伴い春先から成虫の飛来が多くなり、5～6月に発生が最も多くなります。

1. 幼虫が成長するにしたがって薬剤に対する感受性が低下するため、発生初期の防除が重要です。

2. 葉の裏に多く寄生するので、薬剤は葉裏にも十分かかるように散布しましょう。



↑左 成虫

右 幼虫